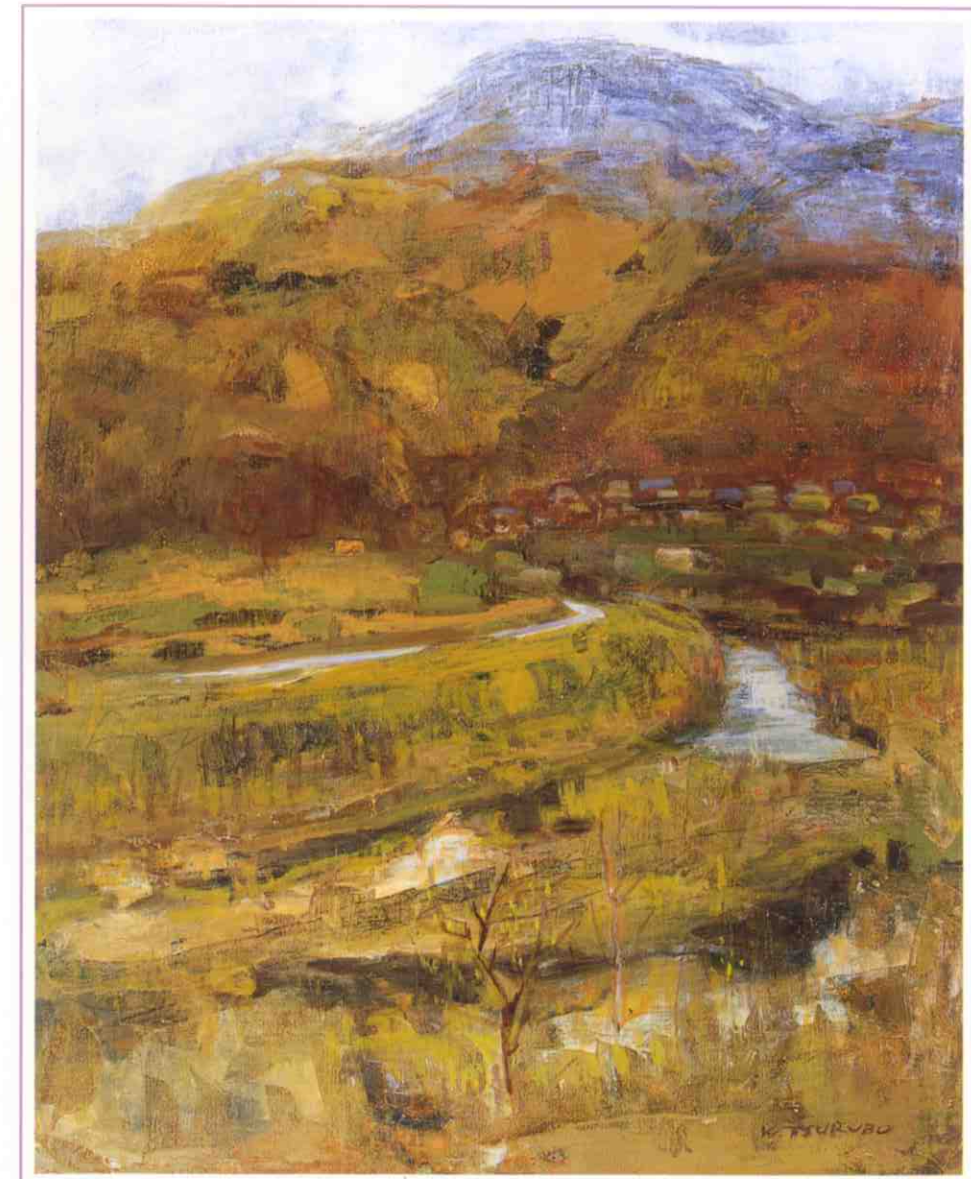


—潤いを未来に—

たかととき川

いま昔



丹生ダム広報誌 季刊 たかととき川 いま昔 VOL.10

発行 ● 水資源協会

監修 ● 高時川治水対策促進協議会 水資源開発公団丹生ダム建設所

THE TAKATOKI RIVER INFORMATION

特集…山々の恵みと共に迎える湖北のお正月
～余呉町に伝わる年末年始のしつらえ～

1998
Vol.10

つまく嶺の とがり尖りて 冬来る
俳句/谷口秋翠
画/鶴房健蔵

つまく嶺の
とがり尖りて
冬来る
丹生

晩秋の丹生溪谷を満喫。

10月24日にウッディバル余呉主催の自然観察会、「紅葉の丹生溪谷を訪ねて」が高時川上流の丹生溪谷で行われました。午前中は川沿いを歩きながら、自然観察指導員の松室美法先生や大橋邦男先生から「道端の植物」をテーマに、ノコンギクやミゾソバなどの話をさせていただきました。参加者の皆さんは、おもしろい植物を観察したり、豊かな自然にあふれた丹生溪谷の風景を楽しんでいました。



お弁当を食べていると、すぐ近くの山にサルが現われ、木から木へ飛び移ったり、斜面を走り回ったりと、普段見ることの出来ない光景に、子どもはもちろん大人も大喜びで、童心に返って楽しんでいました。

が説明をしました。今年10月になってもあまり気温が下がらなかったため、紅葉のピークよりも早い時期の観察会となりましたが、それでも参加者の皆さんは、晩秋の一日、丹生の自然を満喫したと思います。

午後からは村上宣雄先生の案内のもと、丹生ダム建設予定地の下流域へ行き、フナの観察をしました。また、丹生ダムの建設予定地では、ダムの目的や環境保全のための取り組みなどについて、公団職員

丹生ダムが建設される丹生溪谷は、冬の間は雪のため通行することができませんが、また来年には新緑から紅葉まで、私たちを楽しませてくれるでしょう。

EVENT

イベント紹介 1月23日(土) 9:30~13:00
余呉湖の水鳥とワカサギ

- 集合場所/余呉町自然休養村センター
- 問い合わせ先/ウッディバル余呉 TEL 0749-86-4145
- 協力/余呉湖漁業協同組合 TEL 0749-86-3033
ワカサギの釣期は11月下旬～翌年の3月上旬

2月27日(土) 9:30~13:00
雪の中の自然を楽しむ

- 問い合わせ先/ウッディバル余呉 TEL 0749-86-4145

2月11日(木) 12:00より
グルメの集い

- 会場/湖北町尾上 朝日漁業会館 および尾上温泉各旅館・民宿
- 内容/湖魚を素材にした郷土料理を賞味する
- 申し込み先/湖北町役場内グルメのつどい事務局 TEL 0749-78-1001 FAX 0749-78-1617

1月10日(日)~2月末
盆梅のふるさと 浅井盆梅展

- 会場/浅井町文化スポーツ公園
- 問い合わせ先/浅井町役場農林商工課 TEL 0749-74-3020

1月15日(金)~4月18日(日)
大通寺あせび展

- 会場/大通寺
- 内容/あせびの古巨木を約150株展示、全国でも珍しい盆栽展
- 問い合わせ先/長浜市商工観光課 TEL 0749-62-4111

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様に素敵なプレゼントをお送りしています。

QUIZ

クイズコーナー

今回のクイズは… お正月の飾りを作る時に、「家の世継ぎが絶えないように」との願いを込めて「ユ○○○」を使っています。さて、何でしょう？

皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

【クイズ解答のあて先】
クイズの解答は、それぞれ〔住所・氏名・年齢・職業・電話番号〕を明記の上、下記のあて先までハガキでお送りください。また「たかととき川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてよろしく願いたします。

〒529-0522 滋賀県伊香郡余呉町坂口819
水資源開発公団 丹生ダム建設所
広報誌クイズ係

*クイズの解答の締切は平成11年1月15日付消印有効です。

「たかととき川 9号」のクイズ
私たちの暮らす地面よりも高い場所に流れる川を何と呼ぶでしょうか？
【正解 天井川】

前号のクイズに多数の応募ありがとうございました。抽選の結果、下記の方々が当選されました。今回もたくさんのご応募をお待ち致しております。

- | | |
|------------|------------|
| 高月町 村井友和様 | 長浜市 伊藤千恵子様 |
| 浅井町 竹腰都子様 | 長浜市 片岡濱子様 |
| 湖北町 松本和美様 | 長浜市 清水宏昭様 |
| 湖北町 近藤とみ子様 | 長浜市 岩根共恵様 |
| 虎姫町 大村敏子様 | 安土町 藤井香様 |

●編集後記●

みなさま方からの多くのご意見や励ましのもと、丹生ダム広報誌「たかととき川」もようやく第10号を迎えることができました。豊かな自然や長い歴史、私たちの文化を見つめ直す「高時川：ふるさと再発見の旅」はいかがでしたか？ ご意見、ご感想をお寄せ下さい。今後の「たかととき川」や広報活動に活かしていきたいと思っています。

ところで、新年も近いこの時期、少し落着かないですね。でも、一年を振り返り、新しい年を迎える大切な時期です。お世話になっている多くの方々を思い浮かべながら、感謝の気持ちで新年を迎えたいものです。

それでは、すこし早いですがお体に気をつけて良い年をお迎えください。